

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【公開番号】特開2015-183106(P2015-183106A)

【公開日】平成27年10月22日(2015.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-065

【出願番号】特願2014-61243(P2014-61243)

【国際特許分類】

C 09 D 201/00	(2006.01)
C 09 D 5/44	(2006.01)
C 09 D 7/12	(2006.01)
C 09 D 5/02	(2006.01)
C 09 D 163/00	(2006.01)
C 25 D 13/06	(2006.01)
C 25 D 13/10	(2006.01)
C 08 G 59/50	(2006.01)

【F I】

C 09 D 201/00	
C 09 D 5/44	A
C 09 D 7/12	
C 09 D 5/02	
C 09 D 163/00	
C 25 D 13/06	B
C 25 D 13/10	A
C 08 G 59/50	

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月27日(2017.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0114

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0114】

製造例5-2 電着塗料用顔料分散ペースト(2)の製造

ジオクチル錫オキシドを用いないこと以外は、製造例5-1と同様にして、電着塗料用顔料分散ペースト(2)を製造した。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0120

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0120】

実施例1

ステンレス容器に、イオン交換水2065部、亜鉛化合物(A1)としての、製造例6-2の亜鉛濃度10%の酢酸亜鉛8部添加した。次に製造例4-2の電着塗料樹脂エマルション(Em2)1600部と顔料(製造例5-1の顔料分散ペースト1)327部を添加しその後40で16時間エージングして、電着塗料組成物を製造した。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 7】

実施例2～10および比較例1～4

下記表に示す配合に変更したこと以外は、実施例1と同様にして、電着塗料組成物を調製した。得られた電着塗料組成物を用いて、実施例1と同様に塗装を行い、電着塗装板を得た。

なお、下記表に示す電着塗料組成物の配合量において、亜鉛化合物（A-1）およびビスマス化合物（A-2）の配合量は、電着塗料組成物100質量部に対する相対比（化合物質量）であり、樹脂エマルションおよび顔料の配合量は、電着塗料組成物100質量部に対する各成分の固形分濃度である。